

2026
9月

Town くぐの

Vol.257

発行／久々野まちづくり協議会

事務局 久々野多目的センター TEL0577-52-3098 FAX0577-70-8178 高山市久々野町無数河580-1 E-mail machi@kuguno.com



なんせい・くぐの夏の交流会
今年はリベンジ大成功！（6年生）
温かい交流に大感激！（5年生）

地元の方でも見たことがない！
養殖マグロの餌やり見学（6年生）

晴天の空にみんなの笑顔（5年生）

昨年、カムチャツカ半島で発生した地震の影響で三重県に津波警報が発令され、安全を最優先に、南伊勢町まであと少しのところまで引き返すこととなった「なんせい・くぐの夏の交流会」。今年はその「リベンジ」を果たし、無事に交流会を開催することができました。

7月28日から29日には久々野小学校6年生27名と保護者14名、7月29日から30日には5年生21名と保護者14名が、三重県南伊勢町を訪れました。

南伊勢町に到着すると、交差点や消防署前など町のあちこちで地域の皆さんが大きな横断幕を手に、温かく出迎えてくださいました。ドキドキしながら到着を待っていた子どもたちも、たくさん笑顔と声かけに大喜び。南伊勢町の皆さんの温かさに触れ、交流会への期待が一気に膨らみました。

滞在中は、海水浴やレクリエーション、乗船クルーズ、養殖鯛の餌やり、養殖マグロの餌やり見学、鯛の塩釜焼き、魚釣りなど、南伊勢

町ならではの体験を思いきり楽しみました。みかんやスイカなどのおもてなしもいただき、海や魚などの豊かな自然だけでなく、地域の皆さんの優しさや温かさ、子どもたちの心に残る思い出となりました。

交流の時間には、学校や地域のことを紹介し合ったり、一緒に遊んだり、連絡先を交換したりと、子どもたち同士との距離も少しずつ近づいていきました。最初は緊張していた子どもたちも、いつの間にか笑顔で話せるようになり、別れ際には「また会おうね」と声を掛け合いながら、最後まで手を振り続けていました。

昨年、途中で引き返すことになったからこそ、今年こうして南伊勢町の皆さんと再会し、一緒に楽しい時間を過ごせたことは、子どもたちにとって特別な思い出となりました。無事に久々野へ帰って来ることができた喜びとともに、温かく迎えてくださった南伊勢町の皆さんへの感謝の気持ちでいっぱいです。

この交流会で生まれたの

は、楽しい思い出だけではありません。子どもたちの出会いをきっかけに、人と人、地域と地域の温かいつながりがまた一つ育まれました。今回の「また会おうね」の言葉が、これからも新しい出会いや再会につながり、なんせい・くぐの交流が自然な形で続いていくことを願っています。



南伊勢町のみなさんの熱烈な歓迎にワクワク

感激！感動！久々野大花火 ひだ桃源郷くぐの納涼夏まつり

8月11日（火・祝）、久々野の夏の風物詩「久々野大花火」が開催されました。今年は歩行者天国のエリアも広がり、町内外から多くの方が訪れ、会場は夏祭りを楽しむ人々の笑顔と活気でいっぱいになりました。

会場には多くの出店が並び、今年ブランド化された「飛騨高山美峰鮎（びほうあゆ）」の塩焼きなど、地域ならではの味を楽しむ姿も見られました。また、地元中学生や高校生による演奏やダンスなどのステージも披露され、会場を盛り上げました。

午後8時、いよいよ花火の打ち上げが始まると、「わあ！」「すごい！」「きれい！」と、あちらこちから歓声と拍手が沸き起こりました。ほどよい風にも恵まれ、夜空いつぱいに広がる色とりどりの花火を、訪れた皆さんが楽しみました。約20分間の大迫力の花火は、最後まで大きな感動を届けてくれました。

花火の後には新久々野音頭保存会「おどらまい会な」の皆さんを中心に盆踊りも行われ、大きな踊りの輪が会場に広がりました。子どもから大人まで、さらには海外

から訪れた方も輪に加わり、見よう見まねで踊る姿に、会場は笑顔でいっぱい。

世代や国籍を越えて人が集まり、同じ時間を楽しみ、自然とひとつの輪になる……。そんな久々野の温かいつながりを感じる、心に残る夏の一夜となりました。



国籍をも越え、みんなで一つに

アルコピアひまわり園で夏のものづくり体験

8月10日（月）、アルコピアひまわり園で「木の枝で木笛を作ろう」が開催されました。講師のコガメエイジさん（mute craft）に教えてもらいながら、参加者は胡桃の木の枝を切ったり、穴を開けたり、彫刻刀で模様をつけたりして、世界に一つだけの木笛づくりに挑戦しました。

完成した木笛を吹くと、「鳴った！」と歓声が上がります。穴の形や開き具合によって異なる音色が園内に響きまし



木笛のハーモニーが響きます♪



僕の飛行機！おそろに飛べ！

た。「お気に入りの木笛ができて面白かった」と笑顔で話す参加者も。木が乾くにつれて風合いや音色も変化するそうで、これからの「成長」も楽しみです。

また、8月12日（水）には「紙飛行機教室」スチレングライダーを作った飛ばそう！」が開催され、12名が参加しました。思い思いの絵を描いたオリジナルのグライダーを作り、完成後はゴムを使って大空へ。風に乗って遠くまで飛んでいく飛行機に、子どもたちから歓声が上がりました。

ものづくりの楽しさと、夏の青空を満喫した2日間。満開のひまわりにも負けない、笑顔いっぱいの夏の思い出となりました。

防災研修会を開催しました

7月23日（木）、まちづくり協議会防災委員会による防災研修会（ワークショップ）が虹流館くぐので開催されました。町内会長や各町内防災委員、子ども会育成委員など、地域の防災を支える皆さんが一堂に会し、高山市民防災研究会のご指導のもと学びを深めました。

研修では、大きな地図を囲み、避難所やよく通る道、大雨時に危険となるハザードマップのレッドゾーンなどを色分けして確認。さらに日常で気付いた危険箇所や要配慮者の方々の情報を出し合い、シールや付箋を貼っていきました。地図上に危険な場所や課題が可視化されるにつれ、「身近なところにこんな危険があったのか」と、参加者の表情も引き締まります。

この「地域のリアルな現状を知ること」こそが、防災の第一歩です。9月27日（日）に開催される「地域防災学習」では、今回の研修で明確になった各地区の実態をもとに、より実践的な訓練を計画しています。

家族や大切な仲間、地域を守るため、まずは一歩を踏み出してみませんか？ご家族やご近所で声をかけ合い、ぜひ「地域防災学習」へご参加ください！



「ここ、大雨の時 危ないよね！」

第20回ふなやま川柳

テーマ「わたしの20」「くぐの」

言葉に込めた、それぞれの「わたしの20」とふるさと「くぐの」への思い。今年で20回目となる「ふなやま川柳」には、まちづくり協議会青少年育成会の呼びかけに応え、久々野の中学生・高校生108名から236首の作品が寄せられました。節目の年にふさわしく、家族や友人、地域への温かな思いが伝わる、個性豊かな作品がそろいました。

8月5日(水)には審査会が開かれ、一次審査を通過した作品の中から、最優秀賞・優秀賞などを選出。さらに、各学年から1点ずつ選ばれる「郵便局長賞」に加え、第20回を記念して(有)ひだ桃源郷様、(株)MGN様からも賞を設けていただき、素敵な賞品をご提供いただきました。

また、応募作品は8月11日(火・祝)から8月15日(土)まで虹流館くぐのに展示され、期間中は多くの方が足を運び、力作の数々を楽しみました。

それでは、未来を担う中高生が言葉にした「わたしの20」と「くぐの」をご紹介します。

入賞作品は次のとおりです(敬称略)

第20回ふなやま川柳

テーマ「わたしの20」「くぐの」(自由題可)



最優秀賞

巣立つも 久々野の花火で また会える
いつまでも 久々野に響け 大花火
高校3年 Ribbon
中学3年 森下 大永



優秀賞

この景色 20年後も このままで
毎日の 弁当母ちゃん ありがとう
花が咲く 祭りの夜の 久々野町
久々野には 距離を感じぬ 愛がある
二十年 たつても見たい 大花火
友達と 思い出つくる 学校坂
あと5年 父と酒飲む その日まで
高校1年 井戸端 啓介
高校1年 あらいぐま
中学1年 ネコ太郎
中学1年 ハルベロストグ51世
中学2年 和仁 紗樹
中学2年 久々野 LOVE
中学3年 アイス



入選

帰り道 久々野まるごと りんご色
おかえりと笑顔あふれる 帰り道
きこまだ 久々野の全て 知れてない
好きな場所? もちろんそれは 久々野町
いつまでも 自然も人も くぐのの魅力
船山の風にあふれて夏の空
いつまでも 変わらぬ心で 二十歳
窓の外 いつでもいる 飛驒の富士
続けよう きれいな花火 いつまでも
もぎたての 桃とりんに 恋が咲く
聞きたいな 二十歳の自分 何してる?
四季めぐる 自然が自慢な 久々野町
高校1年 高橋カービー
高校1年 みみ
高校3年 RYn
中学1年 蛸螭
中学1年 もつあいらちず
中学1年 しやもじ
中学1年 匿名希望
中学1年 ちやみ
中学1年 もつちー
中学2年 ナスビ
中学2年 近藤美織
中学2年 るい



佳作



郵便局長賞

絶対に 忘れぬ思い出 久々野には
夏祭り ビー玉目当て 飲むラムネ
はたちでも 笑い合いたい この仲間
ひさびさの? いえ違います くぐのです
友と見た 久々野の花火 忘れない
酒を飲み 父と笑おう 二十歳
大花火 打ち上げられて 笑顔咲く
久々野町 子供と大人の にじゅうの輪
飛驒の川 流れに逆らう 鮎の群れ
中学2年 ゆ
中学2年 塩酸をシャワーにする
中学2年 パイナップル
中学3年 水蒸気
中学3年 マリトツオ
中学3年 生徒大会長
中学3年 片岡 姫瑠
中学3年 土管をドカン
中学3年 メリオダス
追いかけて 辿りつかぬが あの境地
旬の音 椅子で感じる 水や虫
青き汗 眠気も吹き飛ばす 午前2時
地球は 暑くてイヤヨ 温暖化
炎天下 日輪草が 煌びやか
スマホ閉じ 用もないのに また開く
この町の人のぬくもり 胸に咲く
今日もまた 会える幸せ かみしめる 高校2年
夏の夜 久々野の空に 大輪の花
ハシムシと 熱気が肺を 焼いていく
気づいたら 2年も経てば もう二十歳
大輪や 太陽に咲く 夏の花
高校1年 ターキ
高校1年 三輪 一華
高校1年 ラテ
高校1年 MON7A
高校1年 味噌ラーメン
高校1年 ミカエル
高校2年 過労キティ
高校2年 や
高校2年 まじて暑いよ
高校3年 カーポベルデ
高校3年 りぶとん
20年 独り立ちへの 春が来る
夏の夜 花の火咲けば 夏祭り
宿題を やろうと思ひ 20分
真夏日に 外出て戻り 二十秒
高校3年 K
中学1年 モモ
中学2年 公文アレギー
中学3年 虹の中の魚大会を知る

道の駅賞

挨拶でくぐのの温み 気づく春

その数秒あれば間に合うそのパスに

かえりみち つかれたけれど あすやすみ

墮罪だね 悪魔の果実 愛してる

起きられない 目覚まし時計に 意味はない

ゲンキーは 町民達の 憩いの場

外にいく 最初に思うは 暑すぎない？

堂之上 古代とともに 学びあう

夏祭り 久々野のために ゴミ拾い

久々野町 伝説あるかも 今までに

高校1年 すい

高校3年 枝豆こーん

中学1年 消毒ボーイ

中学1年 DA

中学1年 なーし

中学2年 セーナ

中学2年 ペンキ

中学3年 あこ下ブルドッグ

中学3年 匿名希望

中学3年 時代くん

MGN賞

黄色 届けあなたに 甲子園

あいさつで 繋がる人の あたたかさ

幼馴染歩み分かれる二十(ハタチ)の道

ハイヒール父と並べばおんなじ背

夏休み 気づけば今年で 最後だよ

二十歳 私は何を してるかな

久々野っ子 みんなの笑顔 愛おしい

故郷に 帰ってくるよ みんなでね

山や川 自然豊かな 久々野町

あさはやく おおこえだして しかられる

7年後 私は立派な 大人かな

当たり前 ふるさとの ものだっ

空見上げ 緑輝く 久々野町

今年もね 花火とすこす 夏の夜

怖くても 進むしかない これからも

久々野町 明るくしよう 若者が

飛驒の川 流れに逆らう 鮎の群れ

雪化粧 久々野の風は 朝静か

雲をぬけ ふなやまにとまる 星の舟

友と見た 久々野の花火 忘れない

高校1年 けいのすけ

高校2年 圧倒的インドア派

高校3年 西尾 彩那

高校3年 とまとまと

高校3年 コーンす

中学1年 愛結

中学1年 最弱王

中学1年 ばわにやん

中学1年 RISA

中学1年 永田 晴奏

中学2年 切磋琢磨

中学2年 KAITO

中学2年 長瀬 莉杏

中学2年 高家 莉紅

中学2年 ゆ

中学3年 もずく

中学3年 メリオダス

中学3年 キルア

中学3年 x

中学3年 マリトツォ

職人さんの仕事を、子どもたちへ

飛驒の匠久々野建築組合(代表 田口幸博さん)の皆さんが、久々野保育園で修理や環境整備の奉仕作業を行いました。毎年、園から相談を受け、職人の技術を生かして園の困りごとを解決してくださっています。

この日も、洗面台の周りに柵を設けるなど、子どもたちが気持ちよく過ごせる環境づくりに汗を流しました。

「誰かの役に立つ仕事をする」。言葉にすれば当たり前のようですが、黙々と手を動かし、少しずつ形を整えていく職人さんの姿には、子どもたちにも伝わるものがあります。

道具を使い、木を測り、切り、組み立てる。その一つ一つを間近で見る経験は、「職人さんってかっこいいな」「自分もこんな仕事をしてみたいな」という小さな憧れにつながるかもしれません。

今回の奉仕作業は、園をより良くするだけでなく、子どもたちに働くことの意味や、誰かのために力を尽くすことの素晴らしさをそっと伝える機会にもなりました。

地域の大人の背中を見て育つ子どもたち。こうした何気ない出会いも、久々野の未来をつくる大切な一歩なのかもしれません。



子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、職人さんが丁寧に作業を進めます

縄文体験

個性が光る「まが玉」作り

7月18日(土)、高山市久々野歴史民俗資料館で、NPOふるさと主催による「縄文体験」が開催されました。これは、「古代の暮らしや文化に親しみながら楽しく学んでもらおう」と企画されたもので、勾玉作りと弓矢体験が行われました。

勾玉作りは20名の定員を上回る申込みがあるほどの人気でした。参加者は、親子や友人同士で協力しながら制作に挑戦。講師の先生からアドバイスを受けながら、ヤスリで丁寧に形を整え、「もう少し削ってみようかな」「どの色にしようかな」と楽しく作業を進めました。仕上げに水で磨き、色付けを行うと、一つひとつ表情の異なる、世界に一つだけの勾玉が完成です。

勾玉作りを終えた後は、弓矢体験にも挑戦しました。獲物に見立てた的を狙い、古代の狩りを体験。初めは力の入れ方や指を離すタイミングが難しく、苦戦する場面が見られましたが、コツを教わると見事に矢が飛ぶようになり、子どもたちは得点を競い合いながら夢中になって楽しみました。

心地よい風が吹き、夏らしい自然を感じられる日に、参加者は古代の文化に触れながら、夏休みの思い出を作ることができました。



気分は縄文人

ひまわり食堂オープン！ 地域の方の温かさに感謝

7月31日(金)と8月19日(水)、高山市社会福祉協議会久々野支部と久々野まちづくり協議会の共催で、「ひまわり食堂」を開催しました。

「ひまわり食堂」は、子どもたちをはじめ地域の皆さんが、みんなで楽しく食事をしながら交流できる場として企画した子ども&地域食堂です。7月の第1回で、ボランティアとして参加した久々野中学校の生徒が名付け親となりました。

両日とも、地域の皆さんから寄せられた野菜や果物などを活用し、カレーライスを中心に、好きな食材を選んで楽しめる食事を用意しました。7月には予定を上回る98名、8月にも多くの皆さんが訪れ、会場には「おいしい！」という声と笑顔が広がりました。

この食堂を支えたのは、食材を寄せてくださった方々、調理や配膳などに協力してくださったボランティアの皆さん、そして一緒に活動した中学生たちです。7月は26名、8月は20名のボランティアが参加し、世代を越えて力を合わせました。

たくさんの人の「子どもたちに喜んでほしい」という思いが重なって生まれた、温かな食卓。食事を囲んで広がった笑顔と会話に、地域のつ

ながりを感じるひとときとなりました。ご協力いただいた皆さんに、心から感謝申し上げます。



みんなでおいしく「いただきます！」

本気で楽しんだ！ 久々野子ども会大会

8月2日(日)、子ども会育成委員会による「久々野子ども会大会」がアルコピアマウンテンパークで開催されました。「本気馬鹿」盛り上がりつつあるかああ？さあいくゾー」のスローガンを掲げ、小学3年生から中学3年生まで、参加を希望した117名が大集合。宝探しにバーベキュー、スイカ割り、花火と、夏ならではの遊びを思い切り満喫しました。

この日のために何度も集まり、知恵を出し合って準備を進めてきたのが子どもたちの実行委員。特に中学生は、焼き係を務めたり、小学生に優

しく声をかけたりと、頼もしいお兄さん・お姉さんぶりを発揮しました。スイカ割りでは、宝探しで当選した4名の小学生が挑戦。「右！」「もう少し前！」と仲間から飛ぶ声援を頼りに一歩ずつ進み、見事にスイカが割れると、大きな歓声と拍手が会場を包み込みました。

強い日差しが照りつける暑い一日でしたが、実行委員や育成委員の皆さんが TENT や冷たい飲み物を準備するなど、暑さへの対策も万全。子どもたちは安心して、最後まで笑顔で楽しむことができました。



みんなで大盛り上がり！

御母衣地藏祭 小さな灯りに託す、それぞれの願い

夕暮れの橋場に、小さな灯りが揺れました。8月14日(金)、橋場子ども会による「御母衣(みぼろ)地藏祭」が行われました。

この日はあいにくの小雨。子どもたちは傘をさしながら、提灯を手に橋場公民館を出発しました。小学校に上がる前の子ども、お父さんやお母

さんと一緒に一つの提灯を大切そうに持つて行列に加わります。少し大きな子どもたちも続いて、親子で歩く姿もほほえましく、年齢を越えて一つの行列がつくられていきました。

「おちゃえ」の歌声が響く中、提灯の灯りが雨に濡れた道を照らします。先頭を歩く中学生の元気な歌声に、小さな子どもたちも続きます。傘と提灯を手に歩く子どもたちの姿は、雨の夜ならではの趣がありました。

地藏堂に着くと、子どもたちは静かに手を合わせ、それぞれの願いを胸に祈りました。中でも、中学生の真剣な表情が印象的でした。何を祈ったのでしょうか。

自分のこと、家族のこと、友だちのこと。それとも、これからこの町でみんなが元気に過ごせるように……。その答えは、それぞれの胸の中にあるのでしょうか。

小さな子どもが親と一緒に提灯を持ち、中学生が先頭に立つて歌い、手を合わせる。今年も橋場の子どもたちは、世代を越えて同じ道を歩き、同じ地藏堂の前で願いを託しました。



何を願い、何を祈る——。

今後の行事・イベント

★ハローワーク巡回職業相談

9月11日(金) 13:00～15:00

虹流館くぐの

求人情報等提供 就職に関する相談

★空から見る、久々野の町 ～熱気球体験～

9月12日(土) 6:30～8:30

※予備日 9月13日(日)

アルコピアマウンテンパーク

大人2,500円／3歳～中学生

2,000円／2歳以下無料



★転月鑑賞会

9月25日(金) 17:00～

転月の丘(山梨) 雨天中止

★秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～30日(水)

★地域防災学習

9月27日(日) 8:00～11:00

久々野町内12か所

★久々野保育園運動会

10月3日(土) 9:00～

久々野保育園園庭

(雨天時は久々野小体育館)

イベントが変更になる場合があります。

日程 (豪雨による災害を想定して行います。)

- 8:00 緊急地震速報(全市一斉シェイクアウト訓練)
- 8:10 防災無線アナウンス(町内ごとに訓練開始)
⇒ご近所同士、声をかけ合って避難所(下記実施場所)へ避難
- 8:20 ①「結ネット」災害モードによる安否確認
②ハザードマップを活用した避難経路の確認
⇒住宅地図を使って危険箇所を確認し、避難経路を考える。
③発電機の使用訓練
- 9:20頃 独自メニュー
⇒町内ごとに2～3の訓練を実施
- 10:20頃 片付け、アンケート記入(紙又は二次元コード回答)
- 11:00頃 解散

会場

地区	会場
橋場	橋場公民館
中組	中組公民館
上組	上組公民館
西洞	西洞公民館
反保	反保公民館
久須母・坂屋	坂屋公民館

地区	会場
山梨	山梨公民館
引下・小坊	小坊公民館
大西	大西公民館
小屋名	小屋名活性化施設
柳島	柳島公民館
渚地域*	渚体育館

*渚・長淀・阿多粕・片籠・木賊洞・大坊

「結ネット」を使った安否確認を
行いますので、登録をお願いします。

結ネット

①アプリダウンロード ②登録手続き



結ネット
QRコード

お知らせ

9月27日(日)は、地域防災学習にご参加を!
防災訓練や学習を通じて、いざという時に備えた地域の力を高め、助け合える関係づくりを進めましょう。



くぐの散歩道

やさしい風の吹く町

今年の夏も、17名の子どもたちが参加し、「寺子屋くぐの」が10日間にわたって開催されました。

一日の活動は前半と後半に分かれています。前半は、自分で立てた計画に沿って学習に取り組みます。下級生が上級生に教えてもらいながら宿題を進める姿も、寺子屋ならではの風景です。後半は、読み聞かせや体操教室など、さまざまな体験を楽しみます。

ある日の体験学習は科学教室。電気が起こる仕組みを、実験を通して学びました。

「やってみたい人!」講師の声に、「ハイ、ハイ!」と何人もの子が元気よく手を挙げ、我先にと前へ出ていきます。

そんな中、やってみたい気持ちにはありながら、上級生に遠慮して、なかなか前に出られない子がいました。列の後ろで、みんなの様子を見守りながら、じつと待っています。

やがて、講師から声がかかりました。

実験道具が手渡されると、ニコッと微笑んで講師を見上げ、「ありがとう」。

長い時間を待っていました。

た。その間、愚痴をこぼしたり、誰かを責めたりすることもなく、ただ静かに順番を待っていたのです。

だからこそ、その「ありがとう」には、やりたかったことができるうれしさ、待っていた自分に声をかけてもらえたことへの感謝が、溢れ出たのかもしれない。夏休み、子どもたちは家庭へ、そして地域へ帰って生活します。

そんな子どもたちの何気ない姿を見ていると、日々の暮らしの中で、家族に見守られ、地域の人に支えられながら育っていることを感じるがあります。

あの日の「ありがとう」はその子の心に吹く、やさしい風のようにした。きっとこの町には、子どもたちが安心して暮らし、素直に「ありがとう」と言える、やさしい風が吹いているのでしょ。

